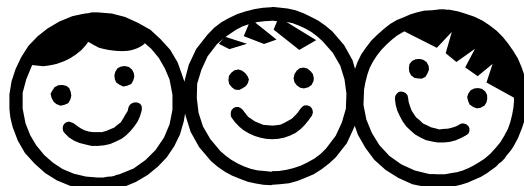


高校生の男女共同参画と 男女間のDV意識に関する アンケート調査結果について



平成30年3月

鹿角市市民部市民共動課

調査の概要

1. 調査目的

男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画について考えるきっかけづくりや人権教育の推進などを図り、男女がそれぞれを認め合い、思いやる関係の構築と格差・差別、暴力のない社会を目指すため、DVについての認識を浸透させていきたいと考えています。

本調査では、高校生における男女共同参画と異性に対する暴力の意識に関する実態の把握を行うことで、今後の若年層に向けた男女共同参画事業の参考とし、男女共同参画施策に役立てていくことを目的としています。

2. 調査対象

市内の公立高校(花輪高校、十和田高校)に在籍する高校2年生を対象としました。

3. 調査方法

対象生徒に学校を通じて調査票を配付し、記入後、回収用封筒にて回収をしました。

4. 調査期間

平成29年7月18日（火）から21日（金）まで

5. 調査内容

- ・男女共同参画に関する用語の認知度について
- ・学校における男女共同参画について
- ・結婚、家庭、離婚に対する考え方について
- ・デートDVについて
- ・DV行為に対する意識について
- ・性別に関わらず、生きやすい社会にするために必要なことについて

6. 調査結果

調査票配付数	229
調査票回収数	221
回 収 率	96.5%

7. アンケート集計結果の公表について

本調査の集計結果は、各校に配付するほか、市ホームページ上で公開します。また、鹿角市男女共同参画推進会議に報告するとともに、必要に応じて市民に周知し、若年層に向けた男女共同参画施策の企画立案の基礎資料とします。

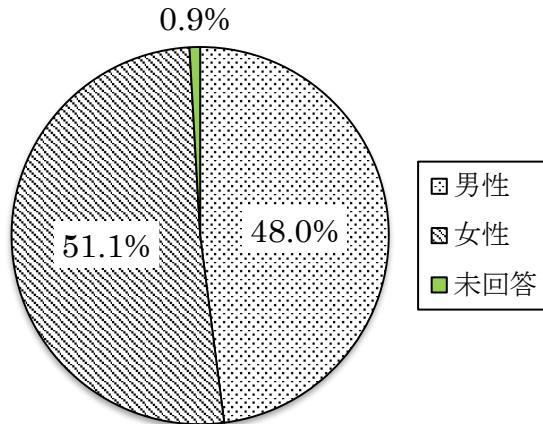
その際、学校名の記載は行わず、統計的に取り扱うこととします。

※調査結果の割合は、小数点以下第2位を四捨五入しており、一部合計がずれる場合があります。

回答者の属性

問1. あなたの性別は。

	人数	割合
男 性	106人	48.0%
女 性	113人	51.1%
無 回 答	2人	0.9%
計	221人	100%



調査の結果

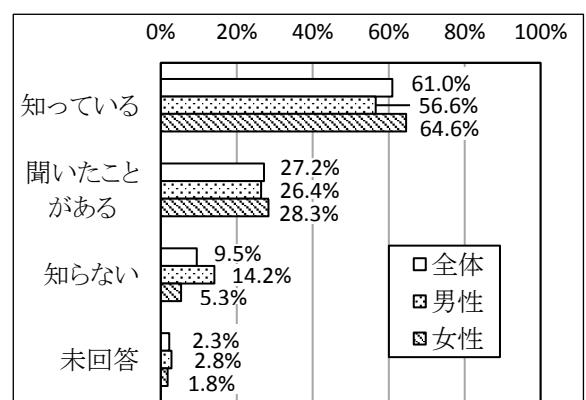
・男女共同参画に関する用語の認知度について

問2. あなたは、次のような用語について知っている、または聞いたことがありますか。

(1) 男女共同参画社会

約6割の生徒が「知っている」と回答し、女性の割合が高くなっています。

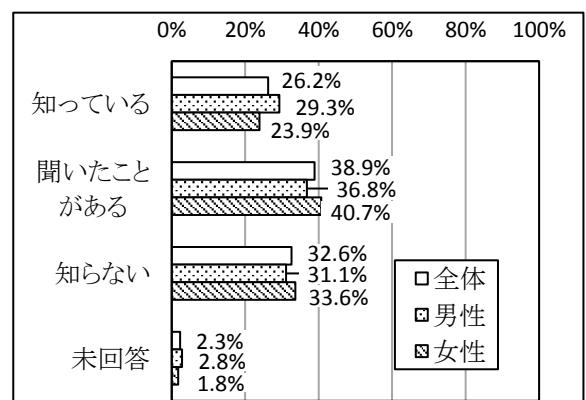
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	135人	61.0%	60人	56.6%	73人	64.6%
聞いたことがある	60人	27.2%	28人	26.4%	32人	28.3%
知らない	21人	9.5%	15人	14.2%	6人	5.3%
未回答	5人	2.3%	3人	2.8%	2人	1.8%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(2) ワーク・ライフ・バランス

2割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

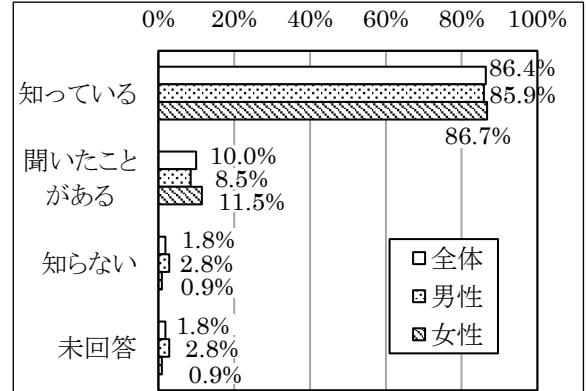
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	58人	26.2%	31人	29.3%	27人	23.9%
聞いたことある	86人	38.9%	39人	36.8%	46人	40.7%
知らない	72人	32.6%	33人	31.1%	38人	33.6%
未回答	5人	2.3%	3人	2.8%	2人	1.8%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(3) DV

8割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

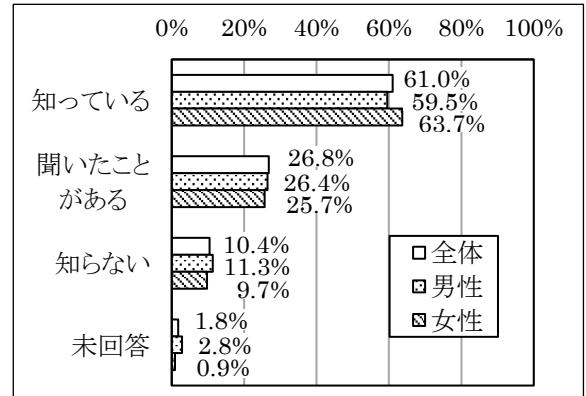
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	191人	86.4%	91人	85.9%	98人	86.7%
聞いたことがある	22人	10.0%	9人	8.5%	13人	11.5%
知らない	4人	1.8%	3人	2.8%	1人	0.9%
未回答	4人	1.8%	3人	2.8%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(4) 育児・介護休業法

約6割の生徒が「知っている」と回答しました。

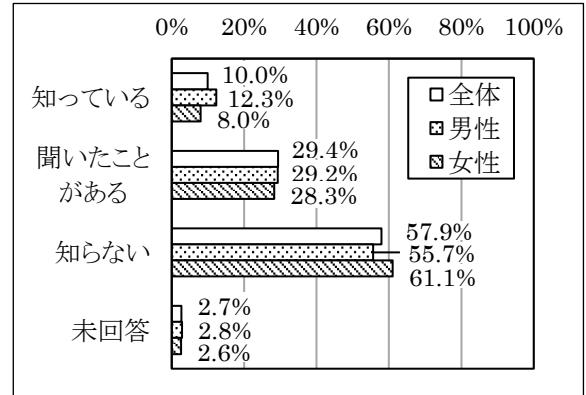
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	135人	61.0%	63人	59.5%	72人	63.7%
聞いたことがある	59人	26.8%	28人	26.4%	29人	25.7%
知らない	23人	10.4%	12人	11.3%	11人	9.7%
未回答	4人	1.8%	3人	2.8%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(5) 固定的性別役割分担

5割以上の生徒が「知らない」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	22人	10.0%	13人	12.3%	9人	8.0%
聞いたことがある	65人	29.4%	31人	29.2%	32人	28.3%
知らない	128人	57.9%	59人	55.7%	69人	61.1%
未回答	6人	2.7%	3人	2.8%	3人	2.6%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%

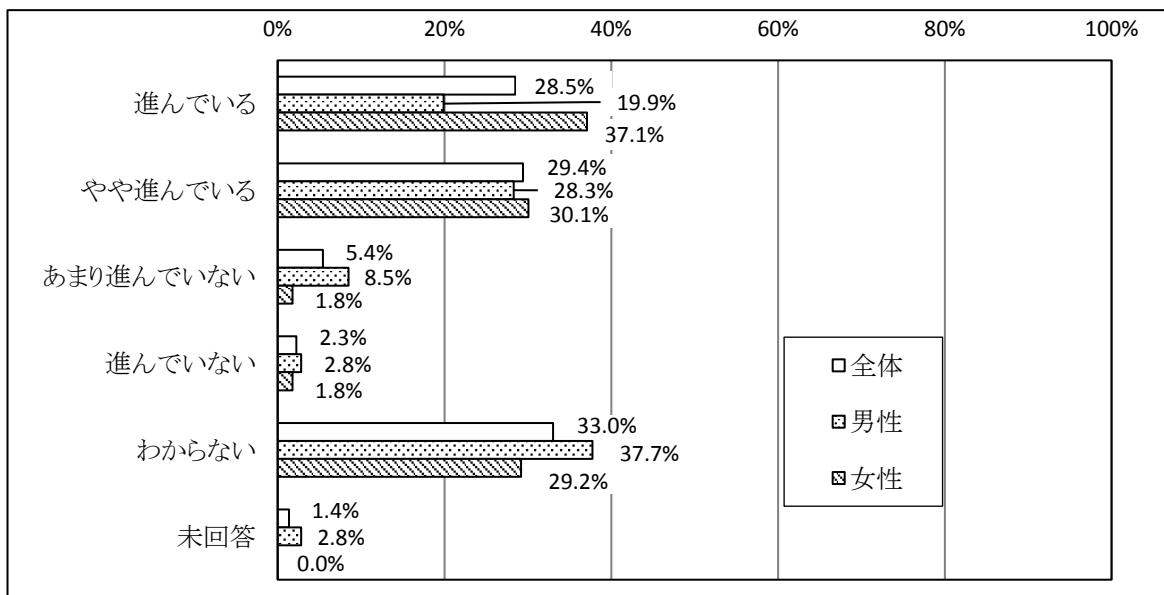


・学校における男女共同参画について

問3. 学校において男女共同参画は進んでいると思いますか。

5割以上の生徒が「進んでいる」または「やや進んでいる」と回答し、女性の割合が高くなっています。

	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
進んでいる	63人	28.5%	21人	19.9%	42人	37.1%
やや進んでいる	65人	29.4%			34人	30.1%
あまり進んでいない	12人	5.4%	9人	8.5%	2人	1.8%
進んでいない	5人	2.3%			2人	1.8%
わからない	73人	33.0%	40人	37.7%	33人	29.2%
未回答	3人	1.4%	3人	2.8%	0人	0.0%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



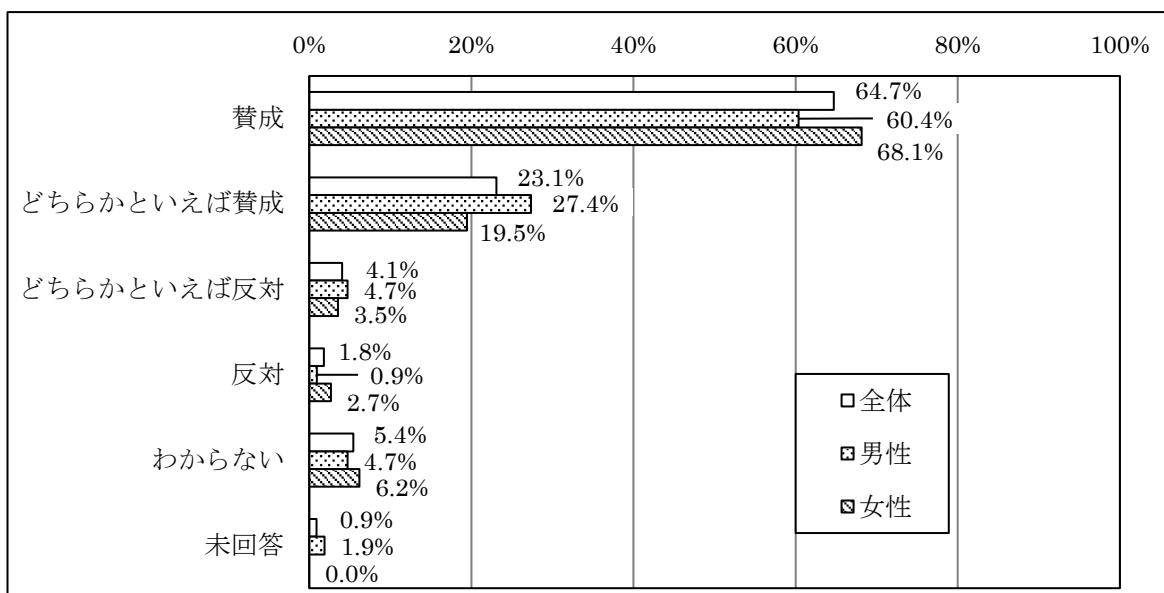
・結婚、家庭、離婚に対する考え方について

問4. 結婚、家庭、離婚について、あなたの意見を答えてください。

(1) 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくともどちらでもよい

8割上の生徒が「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答しました。

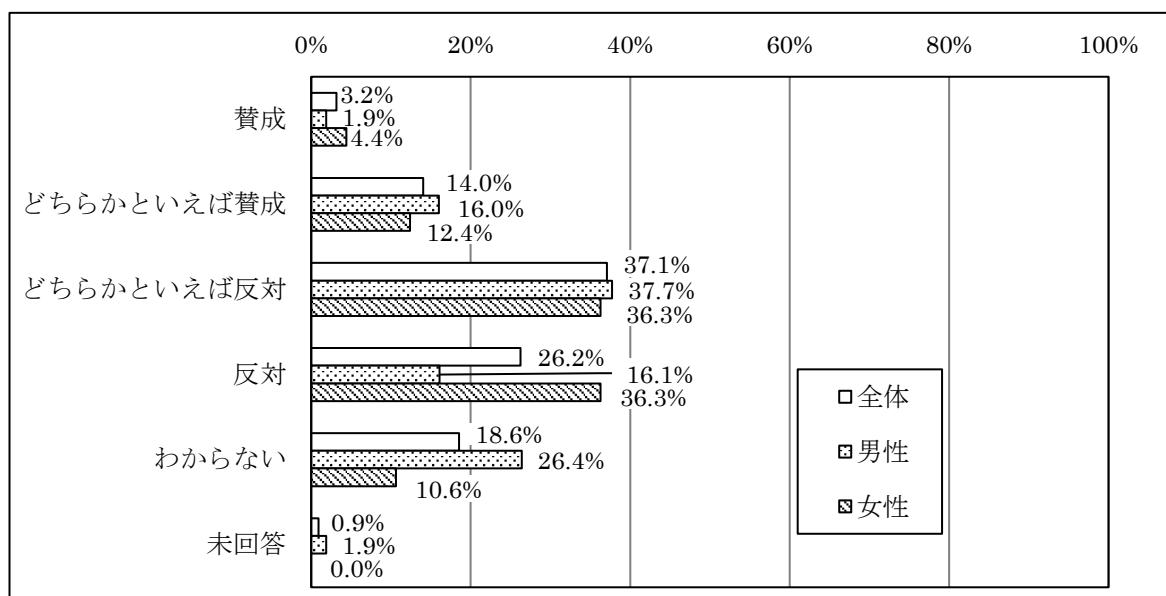
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
賛成	143人	64.7%	64人	60.4%	77人	68.1%
どちらかといえば賛成	51人	23.1%				
どちらかといえば反対	9人	4.1%	5人	4.7%	4人	3.5%
反対	4人	1.8%				
わからない	12人	5.4%	5人	4.7%	7人	6.2%
未回答	2人	0.9%	2人	1.9%	0人	0.0%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(2)夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

約6割の生徒が「どちらかといえば反対」または「反対」と回答しました。

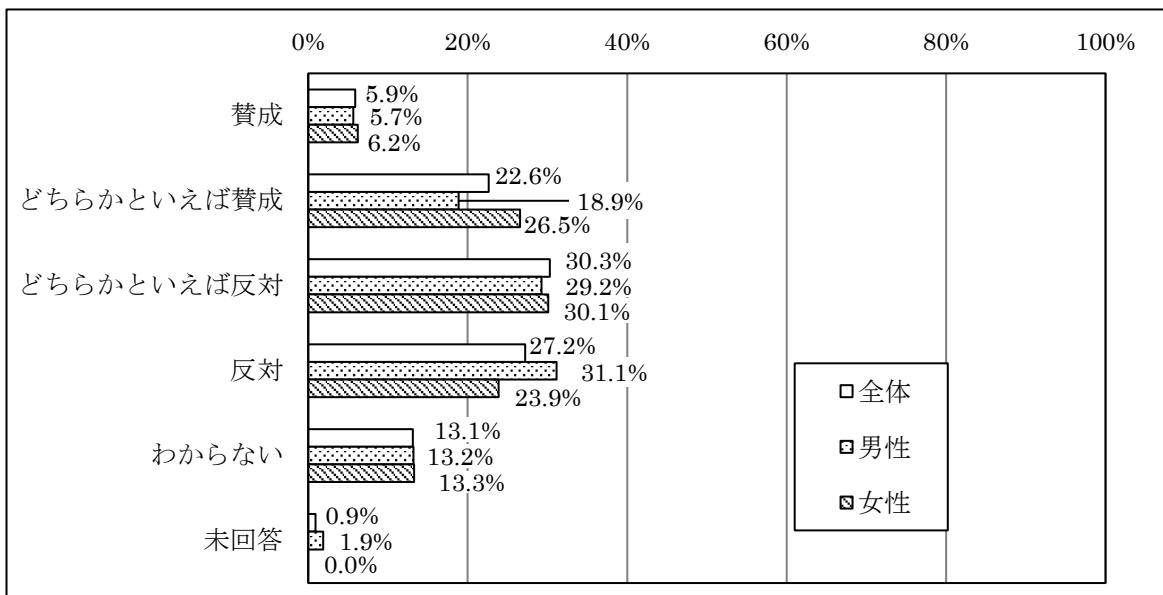
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
賛成	7人	3.2%	2人	1.9%	5人	4.4%
どちらかといえば賛成	31人	14.0%	17人	16.0%	14人	12.4%
どちらかといえば反対	82人	37.1%	40人	37.7%	41人	36.3%
反対	58人	26.2%	17人	16.1%	41人	36.3%
わからない	41人	18.6%	28人	26.4%	12人	10.6%
未回答	2人	0.9%	2人	1.9%	0人	0.0%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(3) 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活した方がいい

5割以上の生徒が「どちらかといえば反対」または「反対」と回答し、男性の割合が高くなっています。

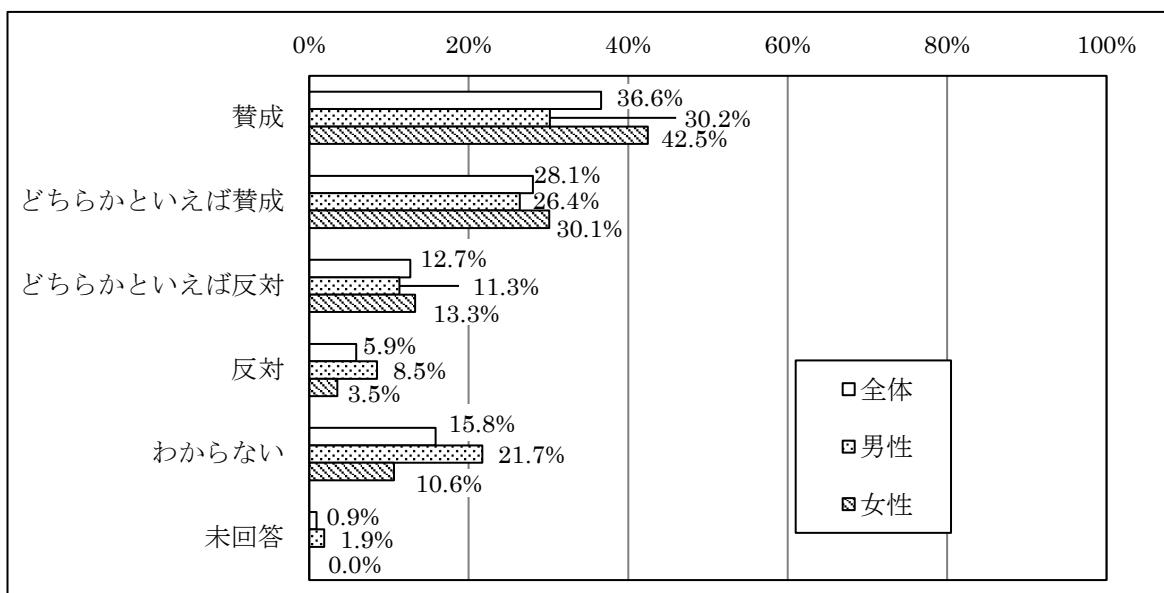
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
賛成	13人	5.9%	28.5%	6人	5.7%	32.7%
どちらかといえば賛成	50人	22.6%		20人	18.9%	
どちらかといえば反対	67人	30.3%	57.5%	31人	29.2%	54.0%
反対	60人	27.2%		33人	31.1%	
わからない	29人	13.1%	14人	13.2%	15人	13.3%
未回答	2人	0.9%	2人	1.9%	0人	0.0%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(4) 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

6割以上の生徒が「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答し、女性の割合が高くなっています。

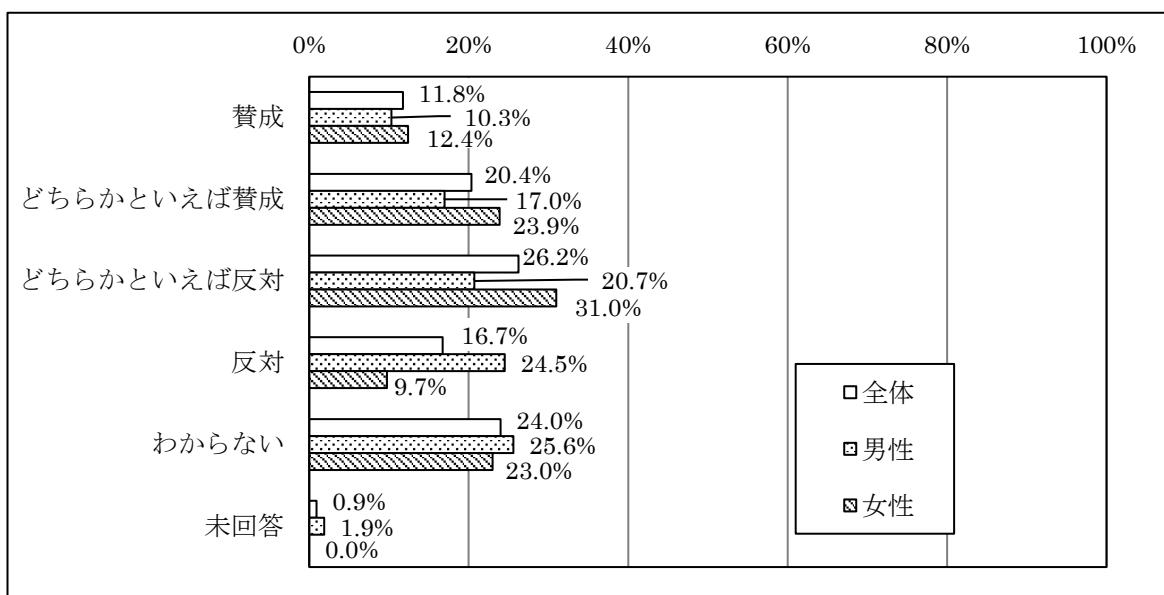
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
賛成	81人	36.6%	32人	30.2%	48人	42.5%
どちらかといえば賛成	62人	28.1%				
どちらかといえば反対	28人	12.7%	12人	11.3%	15人	13.3%
反対	13人	5.9%				
わからない	35人	15.8%	23人	21.7%	12人	10.6%
未回答	2人	0.9%	2人	1.9%	0人	0.0%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(5) 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい

4割以上の生徒が「どちらかと反対」または「反対」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
賛成	26人	11.8%	32.1%	11人	10.3%	27.3%
どちらかといえば賛成	45人	20.4%		18人	17.0%	
どちらかといえば反対	58人	26.2%	43.0%	22人	20.7%	45.2%
反対	37人	16.7%		26人	24.5%	
わからない	53人	24.0%	27人	25.6%	26人	23.0%
未回答	2人	0.9%	2人	1.9%	0人	0.0%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



・デートDVについて

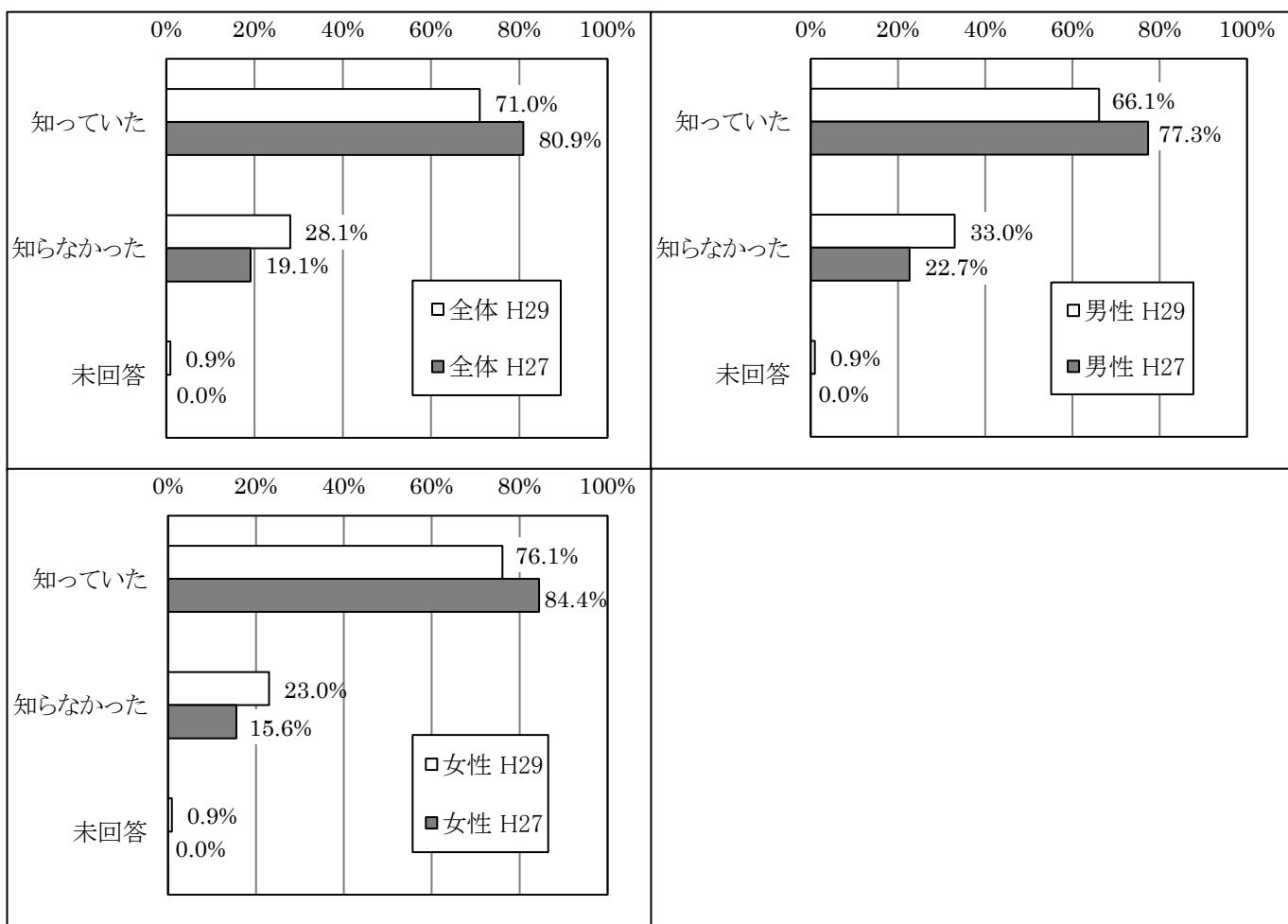
問5. あなたは、デートDVという言葉を知っていますか。

「デートDV」について、約7割の生徒が「知っていた」と回答しました。

	全体				男性				女性			
	H29		H27		H29		H27		H29		H27	
	人数	割合										
知っていた	157人	71.0%	195人	80.9%	70人	66.1%	92人	77.3%	86人	76.1%	103人	84.4%
知らなかつた	62人	28.1%	46人	19.1%	35人	33.0%	27人	22.7%	26人	23.0%	19人	15.6%
未回答	2人	0.9%	0人	0.0%	1人	0.9%	0人	0.0%	1人	0.9%	0人	0.0%
計	221人	100%	241人	100%	106人	100%	119人	100%	113人	100%	122人	100%

※H27は前回調査時の数値

※鹿角市男女共同参画計画の評価指標であることから、前回調査時との比較を実施

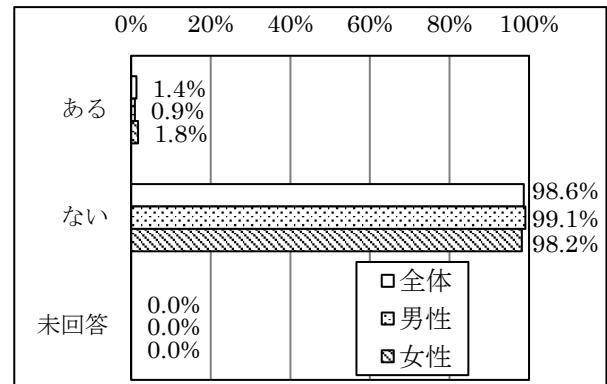


※デートDV：結婚していない男女の間で、親密な相手を自分の思い通りに動かす為に使われる、身体や言葉、態度によるあらゆる種類の暴力のことをいいます。

問6. あなたは、これまでに交際相手からデートDVと思われる行為を受けたことがありますか。

9割以上の生徒が「受けたことがない」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ある	3人	1.4%	1人	0.9%	2人	1.8%
ない	218人	98.6%	105人	99.1%	111人	98.2%
未回答	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



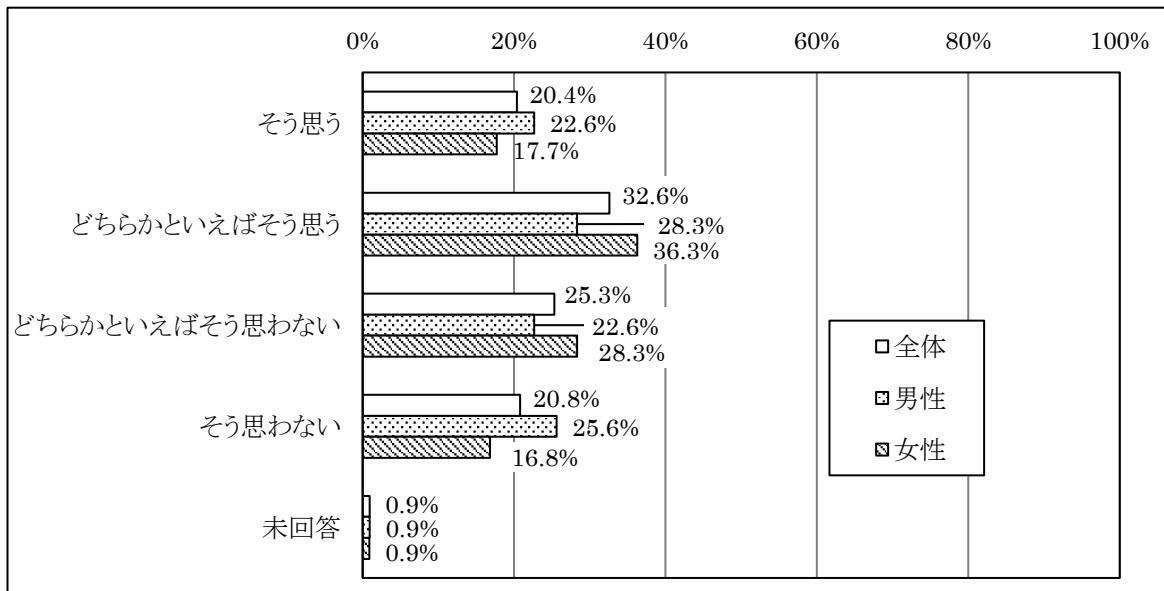
・DV行為に対する意識について

問7. あなたは、夫婦や恋人同士で起こる次のようなことをDV行為だと思いますか。

(1)何を言っても無視する

約5割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

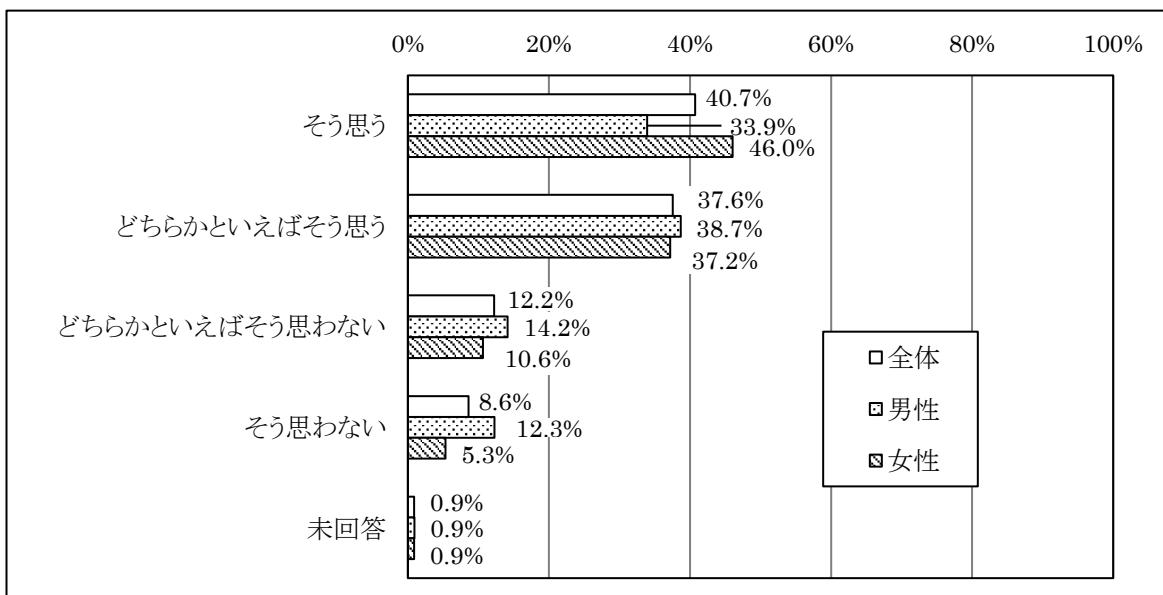
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	45人	20.4%	24人	22.6%	20人	17.7%
どちらかといえばそう思う	72人	32.6%	30人	28.3%	41人	36.3%
どちらかといえばそう思わない	56人	25.3%	24人	22.6%	32人	28.3%
そう思わない	46人	20.8%	27人	25.6%	19人	16.8%
未回答	2人	0.9%	1人	0.9%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(2) 大声でどなる

7割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高くなっています。

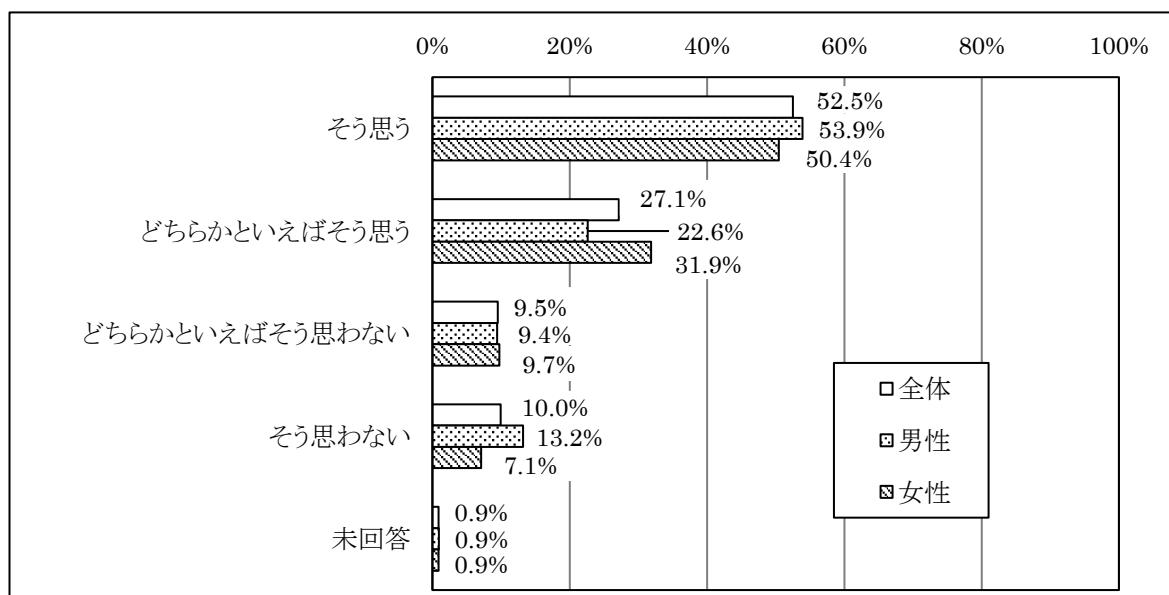
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	90人	40.7%	36 人	33.9%	52 人	46.0%
どちらかといえばそう思う	83人	37.6%			41 人	38.7%
どちらかといえばそう思わない	27人	12.2%	15 人	14.2%	12 人	10.6%
そう思わない	19人	8.6%			13 人	12.3%
未回答	2人	0.9%	1人	0.9%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(3)相手の携帯電話をチェックして、異性の友達の番号やアドレスを消せという

約8割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高くなっています。

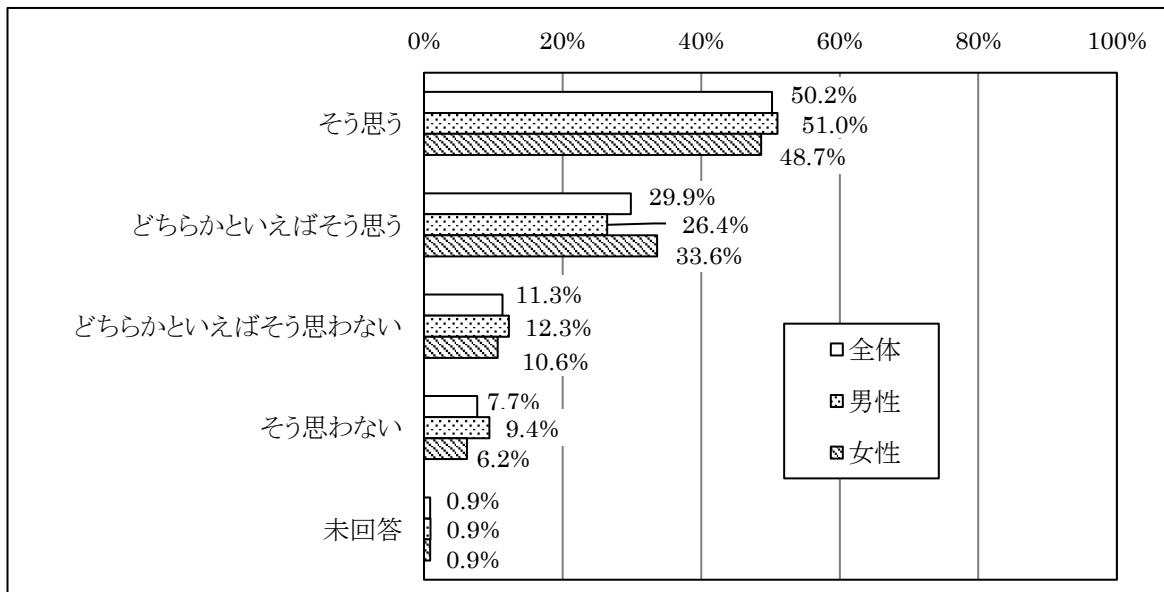
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	116人	52.5%	57人	53.9%	57人	50.4%
どちらかといえばそう思う	60人	27.1%			24人	22.6%
どちらかといえばそう思わない	21人	9.5%	10人	9.4%	11人	9.7%
そう思わない	22人	10.0%			14人	13.2%
未回答	2人	0.9%	1人	0.9%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(4) しょっちゅう電話をしたり、相手の行動を制限しようとする

約8割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高くなっています。

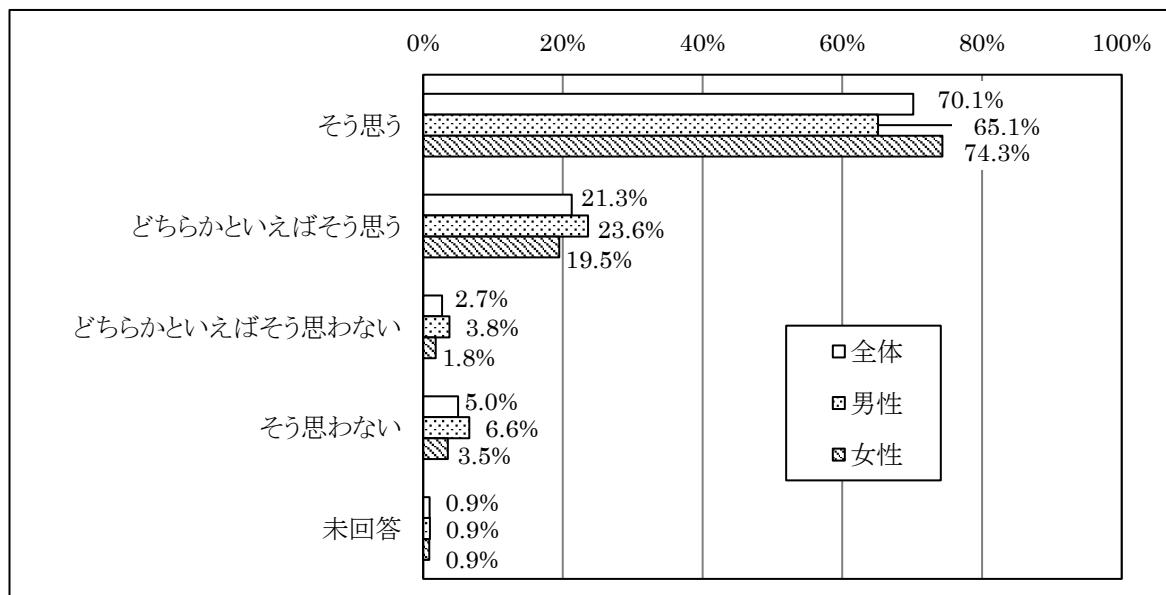
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	111人	50.2%	80.1%	54人	51.0%	48.7%
どちらかといえばそう思う	66人	29.9%		28人	26.4%	
どちらかといえばそう思わない	25人	11.3%	19.0%	13人	12.3%	10.6%
そう思わない	17人	7.7%		10人	9.4%	
未回答	2人	0.9%	1人	0.9%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(5) お金を取り上げる

約9割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高くなっています。

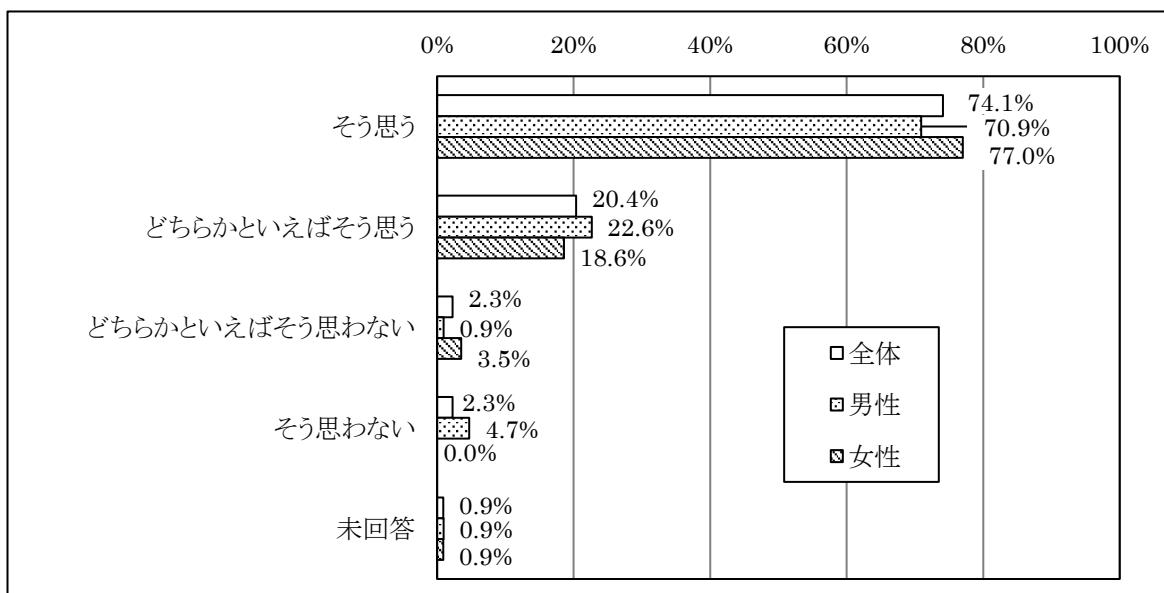
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	155人	70.1%	69人	65.1%	84人	74.3%
どちらかといえばそう思う	47人	21.3%			25人	23.6%
どちらかといえばそう思わない	6人	2.7%	4人	3.8%	2人	1.8%
そう思わない	11人	5.0%			7人	6.6%
未回答	2人	0.9%	1人	0.9%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(6)なぐるふりをしておどす

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

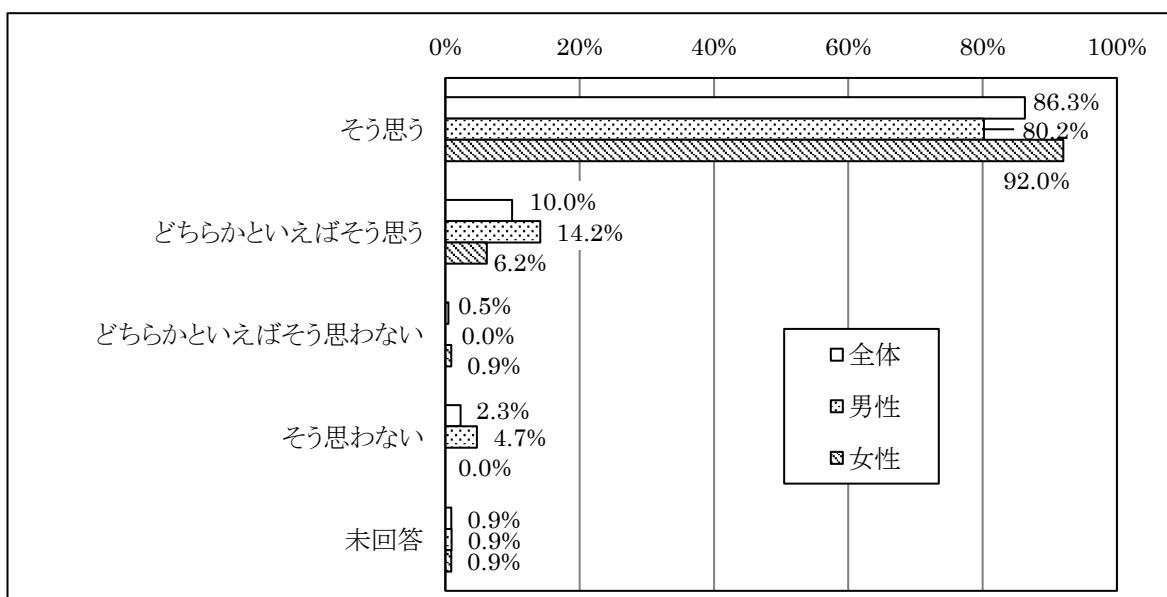
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	164人	74.1%	94.5%	75人	70.9%	77.0%
どちらかといえばそう思う	45人	20.4%		24人	22.6%	
どちらかといえばそう思わない	5人	2.3%	4.6%	1人	0.9%	3.5%
そう思わない	5人	2.3%		5人	4.7%	
未回答	2人	0.9%	1人	0.9%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(7) ものを投げつける

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

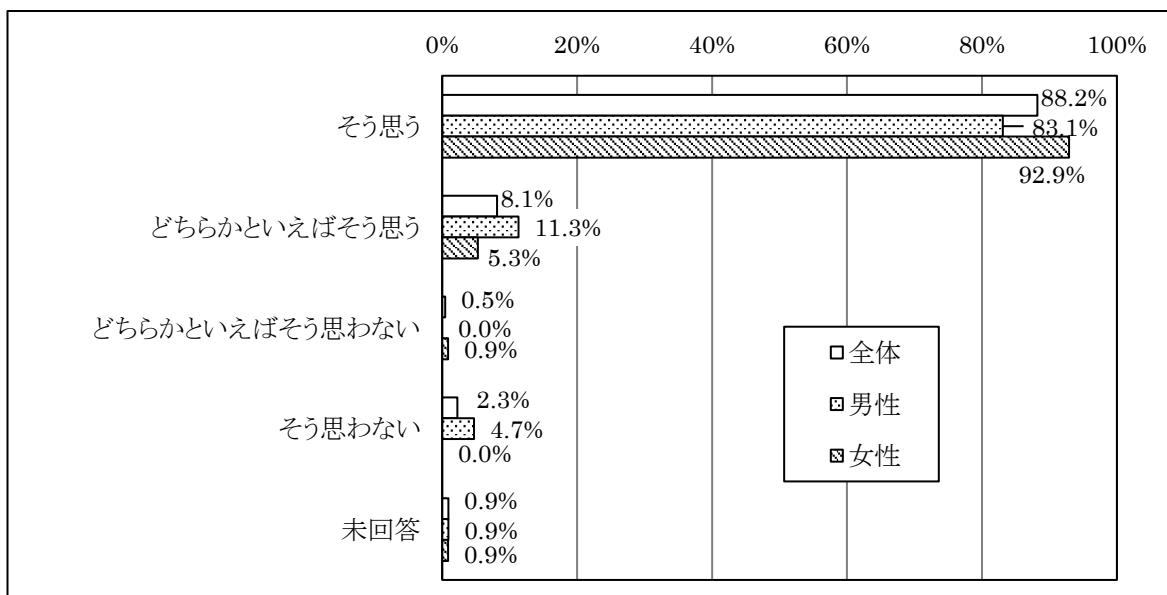
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	191人	86.3%	85人	80.2%	104人	92.0%
どちらかといえばそう思う	22人	10.0%				
どちらかといえばそう思わない	1人	0.5%	0人	0.0%	1人	0.9%
そう思わない	5人	2.3%				
未回答	2人	0.9%	1人	0.9%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(8)身体を傷つける可能性のある物でたたく

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

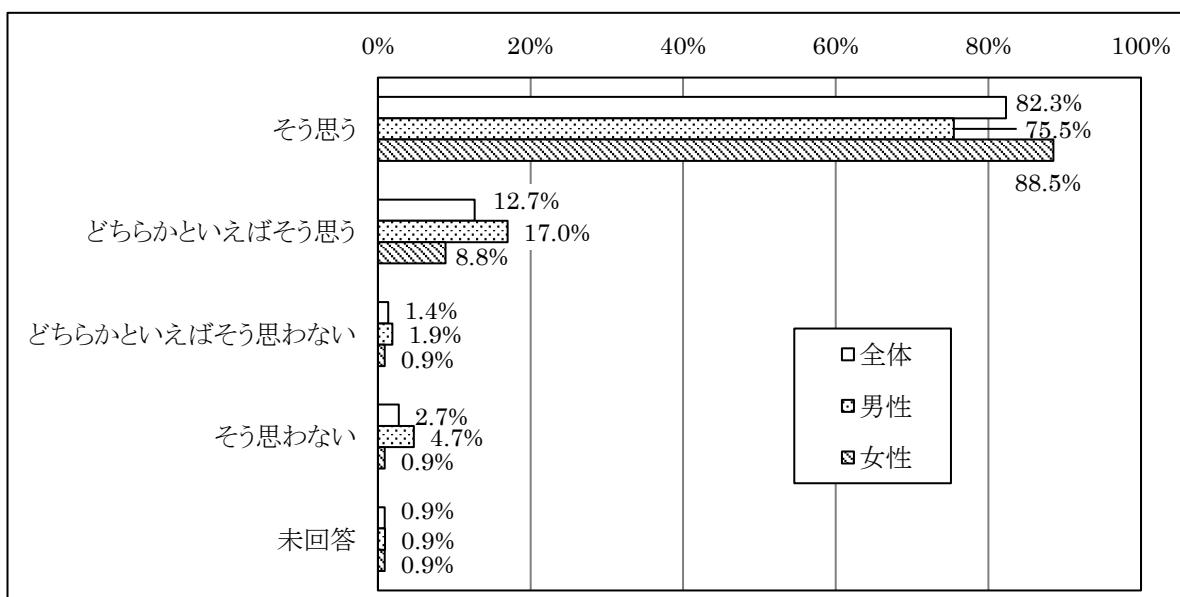
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	195人	88.2%	88人	83.1%	105人	92.9%
どちらかといえばそう思う	18人	8.1%				
どちらかといえばそう思わない	1人	0.5%	0人	0.0%	1人	0.9%
そう思わない	5人	2.3%				
未回答	2人	0.9%	1人	0.9%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(9)相手が嫌がっているのに無理やり身体をさわったりする

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高くなっています。

	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	182人	82.3%	95.1%	80人	75.5%	97.3%
どちらかといえばそう思う	28人	12.7%		18人	17.0%	
どちらかといえばそう思わない	3人	1.4%	4.1%	2人	1.9%	1.8%
そう思わない	6人	2.7%		5人	4.7%	
未回答	2人	0.9%	1人	0.9%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



※DV行為の種類

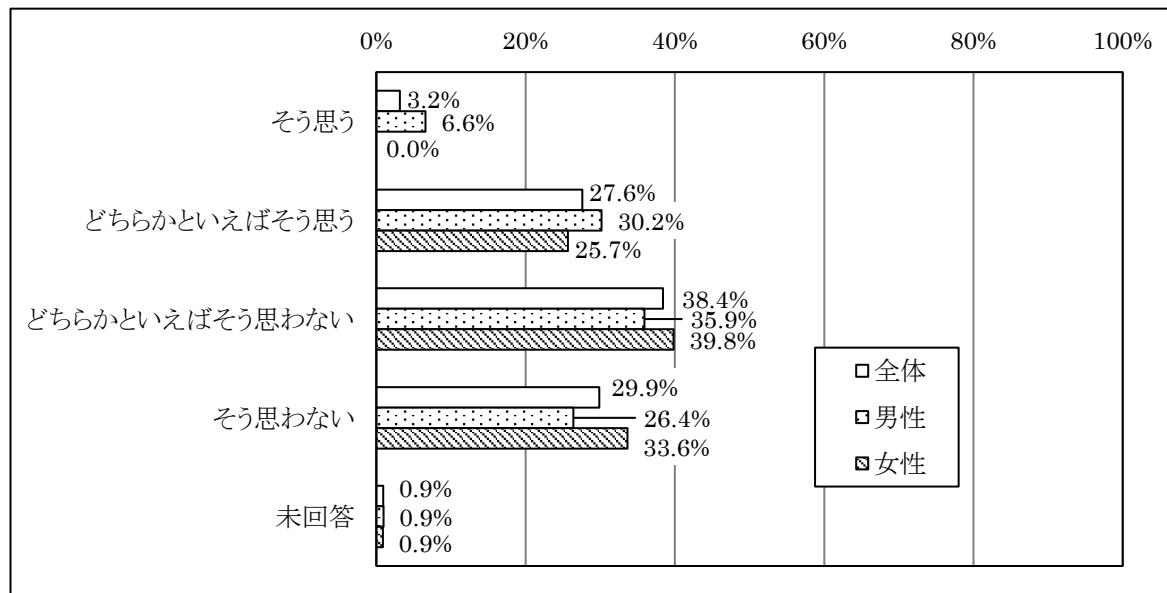
1. 身体的暴力：相手に物を投げる、叩くなど
2. 心理的・感情的暴力：汚い言葉を使う、無視する、嫌がらせ、ストーキング、頻繁に電話をかけてくる、過剰な嫉妬など
3. 性的暴力：自主的な承諾なしのあらゆる性的な物理的接触
4. 経済的暴力：お金を貢がせる、お金を借りて返さないなど

問8. 次の考え方について、あなたの考え方一番近いものに○をつけてください。

(1) DV行為を受けるのは、DV行為を受けるほうにも悪いところがあるからだ

6割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高くなっています。

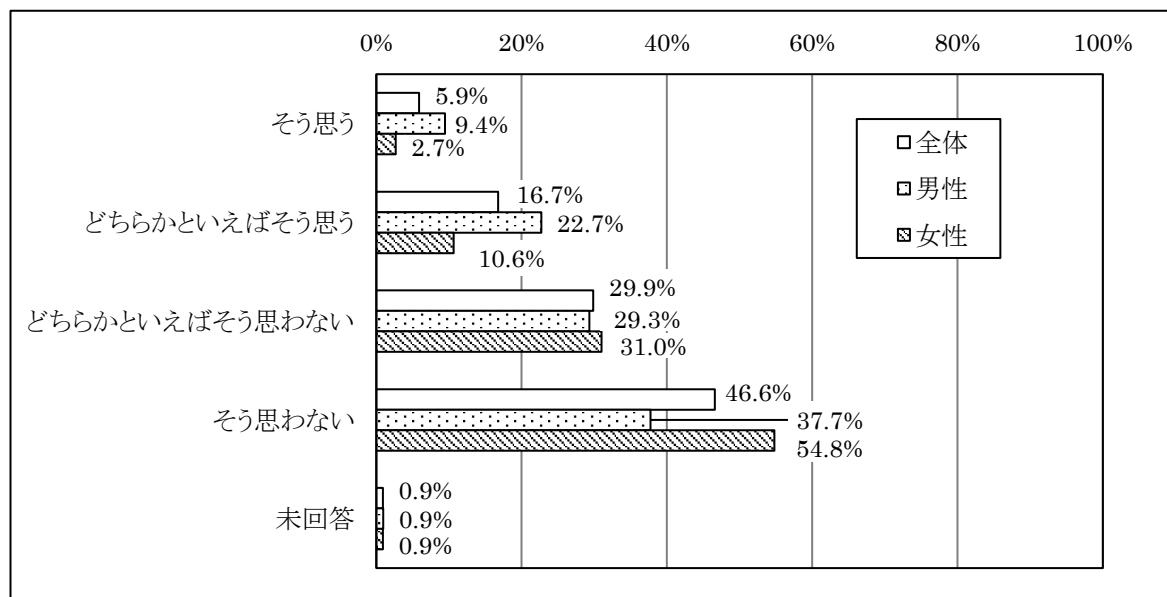
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	7人	3.2%	7人	6.6%	0人	0.0%
どちらかといえばそう思う	61人	27.6%	32人	30.2%	29人	25.7%
どちらかといえばそう思わない	85人	38.4%	38人	35.9%	45人	39.8%
そう思わない	66人	29.9%	28人	26.4%	38人	33.6%
未回答	2人	0.9%	1人	0.9%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(2) 家の中で起こるDVは、家庭内で解決すべきである

7割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高くなっています。

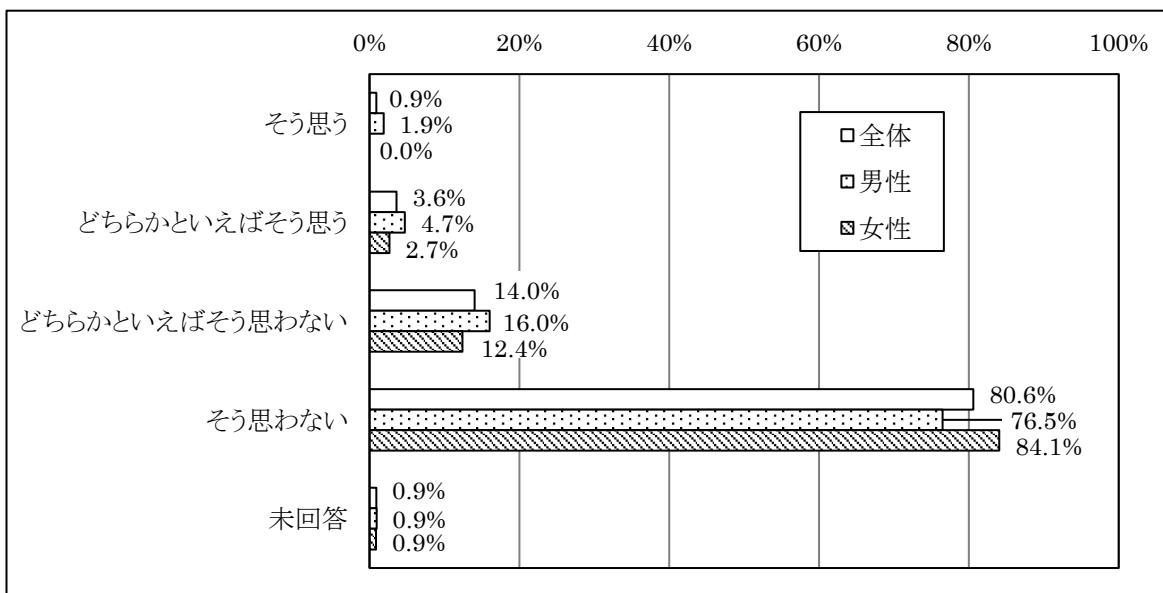
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	13人	5.9%	22.6%	10人	9.4%	13.3%
どちらかといえばそう思う	37人	16.7%		24人	22.7%	
どちらかといえばそう思わない	66人	29.9%	76.5%	31人	29.3%	85.8%
そう思わない	103人	46.6%		40人	37.7%	
未回答	2人	0.9%	1人	0.9%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(3) 男性が暴力的なのは、男らしさの証である

9割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答しました。

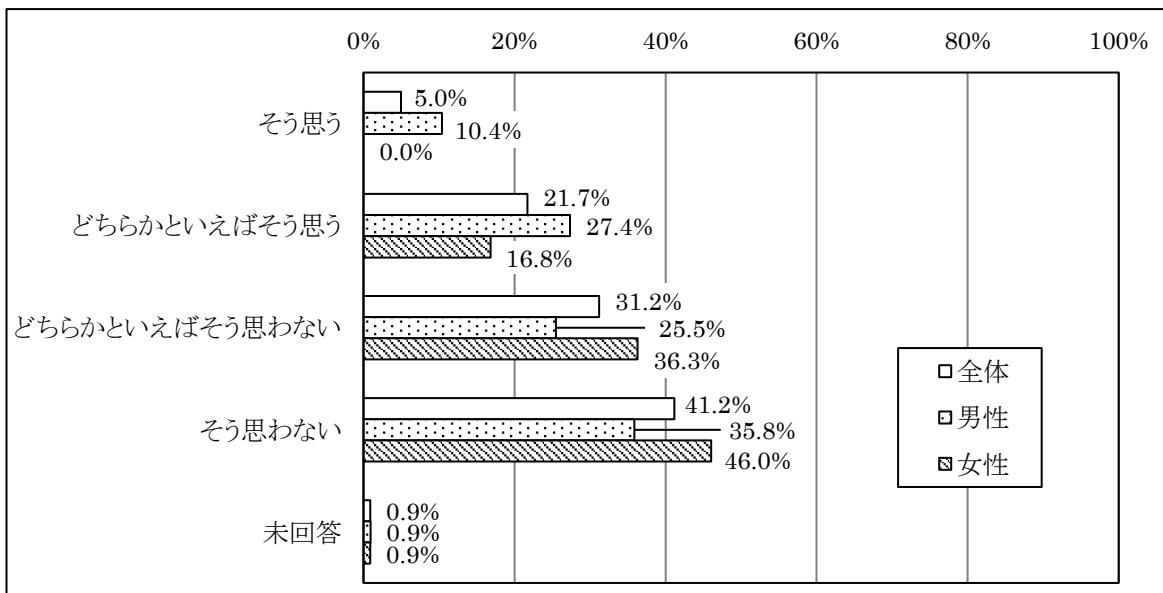
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	2人	0.9%	2人	1.9%	0人	0.0%
どちらかといえばそう思う	8人	3.6%	5人	4.7%	3人	2.7%
どちらかといえばそう思わない	31人	14.0%	17人	16.0%	14人	12.4%
そう思わない	178人	80.6%	81人	76.5%	95人	84.1%
未回答	2人	0.9%	1人	0.9%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(4) DV行為を受けても話し合いで解決できるはずだ

約7割の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高くなっています。

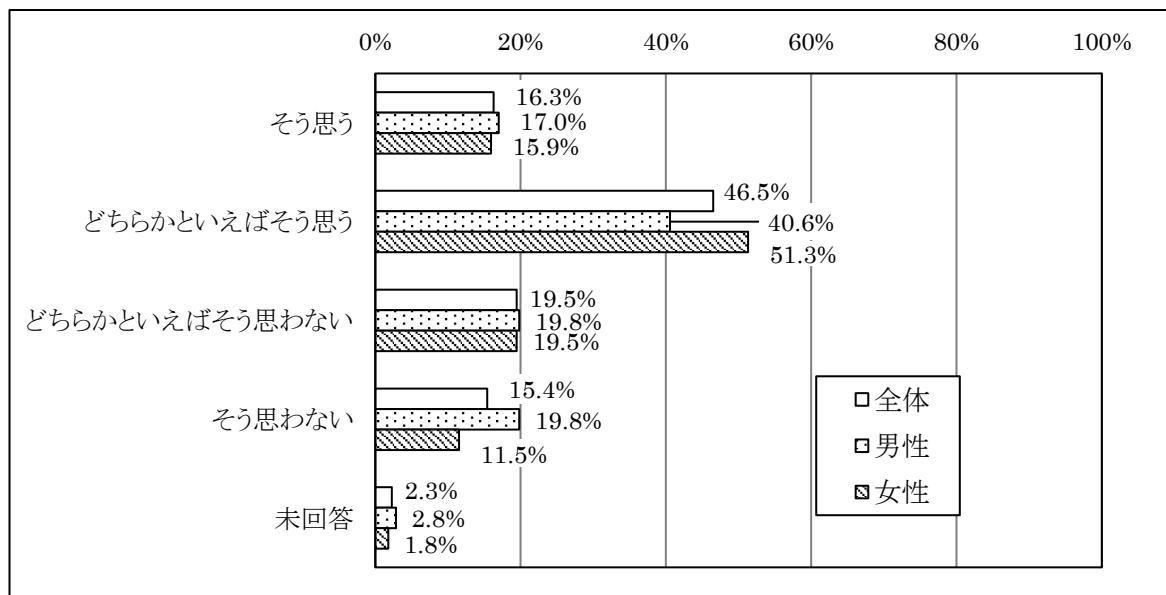
	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	11人	5.0%	26.7%	11人	10.4%	16.8%
どちらかといえばそう思う	48人	21.7%		29人	27.4%	
どちらかといえばそう思わない	69人	31.2%	72.4%	27人	25.5%	82.3%
そう思わない	91人	41.2%		38人	35.8%	
未回答	2人	0.9%	1人	0.9%	1人	0.9%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



(5) 女性に対するDVの背景には女性差別がある

約6割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高くなっています。

	全体		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	36人	16.3%	18人	17.0%	18人	15.9%
どちらかといえばそう思う	103人	46.5%			43人	40.6%
どちらかといえばそう思わない	43人	19.5%	21人	19.8%	22人	19.5%
そう思わない	34人	15.4%			21人	19.8%
未回答	5人	2.3%	3人	2.8%	2人	1.8%
計	221人	100%	106人	100%	113人	100%



・性別に関わらず、生きやすい社会にするために必要なことについて

問9. あなたは、「女性にとっても男性にとっても生きやすい社会」にするためにはどのようなことが必要だと思いますか(自由回答)

男女平等な社会づくり

- ・男性のみ、女性のみ等の制限をなくす。両方の立場で考えて差別のない社会にしないといけない。
- ・男女どちらかが不利と思われないように、どちらにも何かしらの支援があってもよいと思った。
- ・男性と女性で差別せずに対等に扱う。
- ・男女が一緒に同じことをする。
- ・同じ人間であることを理解すればよく、男性または女性だからという考え方を持たずに働いた方がいい。
- ・男女どちらかが上という考え方で物事を進めず、性別の違いで不満を感じないような制度を作る。
- ・男性は仕事、女性は家事という固定概念をなくす。互いに尊重し合い、理解することが必要。
- ・男女間で給料や雇用の差をなくす。
- ・男女の要望に応える。
- ・色々な意味で格差がなくなるといい。例えば女性と男性どちらも家事を行うところから始めるといい。
- ・どちらにもメリットがあればいいと思う。

男女がお互いを理解し尊重し合う、思いやる

- ・お互いのことを思いやる。
- ・お互いの違いを理解し尊重し合う、意見を取り入れあう。
- ・女性も男性もお互いのことを深く知り、相手のことを思いやるという心を持つことが必要だと思う。
- ・お互いの欠点を認め、支え合うこと。
- ・相手のことを思って発言する。
- ・お互いが一人の人間であることを尊重することを常に忘れない。
- ・リスペクト（尊敬の）精神を忘れない。

その他

- ・もっと呼びかけをするべき。
- ・法律を厳しいものにし、DVに対する罰を重くする。
- ・同じ価値観を持つように学校で「男女で協力する機会」をたくさん作る。
- ・女性がもっと活躍できる場を設ける。
- ・男尊女卑という言葉があるが必ずしもそうとは思わない。痴漢の誤認逮捕など見直すものはあるはず。
- ・男性または女性がやっている仕事を異性の人ができるとは限らないから、仕事が分かれてしまうのは仕方ないこと。その中で男女を活かせるならその方がいい。
- ・できることは自分でやり、できないことは協力する。
- ・女性と男性どちらも生きやすい社会を考え抜いた結果が今の社会だと思う。
- ・「女性にとっても男性にとっても」と言っている時点で差別しているように思える。また、この中の設問は男性の方がとりやすい行動に見える。男性も男性で悪い点は多々あると思うが、女性が取りやすい行動の設問も加えるべきだと思う。
- ・男性だから、女性だからという認識や意識をなくすことができればいいと思う。
- ・女性差別撤廃の徹底。

- ・一人一人がその意識を持つ。
- ・差別と区別は違うといって、意味の分からぬところで差をつけるのをやめてほしい。
- ・性別ではなく区別だということをしっかりと認識してもらう。
- ・女性の地位が上がった部分と男性地位が下がった部分があると感じるから、バランスが大事。
- ・女性が居づらい場所、場面を作らない。
- ・女性の悩みの相談窓口があることをもっと知ってもらう。
- ・子供がいる家庭で子供を預かってもらえるところを増やす。
- ・異性に対する偏見をなくす教育をする。
- ・男女の短所と長所を理解し、性別の特徴を長所になるように接する。
- ・今のところは難しい。結局は差別される部分もあるし、どんなことが必要かわからない。
- ・そういったことに理解のある議員を立てる。
- ・周りの人に相談する。
- ・相手の考えを聞いたりして話し合いをした方がいいと思う。
- ・お互いのことをしっかりと分かっているパートナーができれば、生きやすい社会が生まれると思う。